

大会名 Competition	第24回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO. M-115	Year Month Day Time 2011 年 5 月 5 日 15 : 00
場 所 Place	能代市総合体育館



チーム A		チーム B					
明成高校	<table border="1"> <tr><td>17 1st 24</td></tr> <tr><td>13 2nd 13</td></tr> <tr><td>24 3rd 14</td></tr> <tr><td>19 4th 31</td></tr> <tr><td>OT</td></tr> </table>	17 1st 24	13 2nd 13	24 3rd 14	19 4th 31	OT	能代工高
17 1st 24							
13 2nd 13							
24 3rd 14							
19 4th 31							
OT							
73 ●		82 ○					

主審:Referee  
藤垣 庸二 (宮城県)  
副審:Umpire  
高城 邦弘 (宮城県)  
副審:Umpire  
小川 裕之 (秋田県)

テーブル・オフィシャルズ:Table officials

能代高校

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F
4		藤井 祐希	cap	-	-	-	-	0	4	×	志水 一希	CAP	10	0	4	2	1
5	×	金子 大希		2	0	1	0	4	5	/	中村 正也		5	0	2	1	2
6		川東 聖司		-	-	-	-	0	6	×	溝坂 太成		9	1	3	0	1
7	/	白戸 大聖		25	5	5	0	1	7		田中 浩喜		-	-	-	-	0
8	/	森川 文弥		0	0	0	0	0	8	/	伊藤 健太		0	0	0	0	0
9	/	宮本 滉希		10	0	3	4	2	9	/	中山 祐樹		8	0	3	2	5
10	×	岩田 裕介		22	4	4	2	2	10	×	熊谷 慎也		5	0	2	1	2
11	×	中村 優斗		4	0	2	0	2	11	/	秋葉 真司		4	0	2	0	0
12	/	柳川 知之		0	0	0	0	0	12	×	野里 惇貴		31	0	14	3	0
13		市原 大臣		-	-	-	-	0	13	/	土屋 真人		4	0	2	0	0
14	×	森 知史		2	0	1	0	0	14		金田 海郷		-	-	-	-	0
15	×	高柳 紗万		8	0	4	0	3	15	/	中島 強太		0	0	0	0	0
16	/	齋藤 巧己		0	0	0	0	0	16	/	松本 大河		4	0	2	0	2
17		山崎 友斗		-	-	-	-	0	17	×	佐々木 健登		2	0	1	0	1
18		本間 翔太郎		-	-	-	-	0	18		小田桐 匡志		-	-	-	-	0
コーチ		佐藤 久夫							コーチ		佐藤 信長						
									コーチ		平山 智哉						
		合 計		73	9	20	6	14			合 計		82	1	35	9	14

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3P\* イントシュート 2P:2P\* イントシュート FT:フリースロー F:ファウル

1Q、オーソドックスなマンツーマンで守る明成に対し、能代工は立ち上がりから1-2-1-1のゾーンプレスから1-1-3ゾーンで激しくプレッシャーをかける。運動量で上回る能代工は速い展開から#4志水がアシストを連発、#6溝坂の3P、#17佐々木の速攻で先行する。1-1-3、2-3と目まぐるしく形を変える能代工のチェンジングディフェンスを明成は攻め疲れ、その間に能代工#12野里が立て続けにジャンプシュートを決めて9-23とリードを広げる。流れを断ち切りたい明成は#10岩田がジャンプシュート、そして終了間際に3Pを決めて17-24として1Qを終える。

2Qに入ると両チームともシュート精度を欠き、ロースコアの展開となる。メンバーを小刻みに変えてプレスディフェンスを続ける能代工が#13土屋のスティールからの速攻、#5中村のカットインで24-37と再び流れをつかみかけるが、明成も残り2分を切ってから#7白戸のミドルシュート、#10岩田がフリースローとドライブで4得点と盛り返し、30-37能代工リードで前半が終了。

3Q、能代工のゾーンディフェンスに対応し始めた明成がゴール下にパスを通し、#9宮本、#15高柳がインサイドで得点して追い上げる。能代工は#12野里が要所でジャンプシュートを決めるが、勢いづいた明成は#10岩田、#7白戸が思い切りの良い3Pを立て続けに沈め一気に逆転、54-51として3Qを終える。

4Qになると能代工はディフェンスを変化させ、機を見てマンツーマンと2-3ゾーンを使い分ける。これに戸惑った明成はオフェンスのリズムを崩し、ミスが目立ち始める。能代工は#12野里が開始4分間で8得点の活躍を見せ再逆転に成功、更には鋭いドリブルから#4志水が#10熊谷、#16松本に好アシストを配給して明成を突き放す。終盤に#4志水とのピックアンドロールから#10熊谷がシュートを決めると会場はこの日一番の盛り上がりを見せる。能代工は#4志水が最後まで落ちていてゲームをコントロール、73-82で勝利を収めた。